

## Profile Dr. Silvia Dehne



ドイツ人であり、分子生物学の博士号を取得している彼女は、若い頃から国際ビジネスを専門にすることに決め、様々な奨学金を受け取り、日本に移住し、プロとしてのキャリアを確立してきました。

そのキャリアを要約すると、東京に拠点を置く日本の大手製薬会社数社で10年以上、プロダクトマネージャーとして、日本国内のマーケティングに従事し、営業部隊に向けて、販促策を展開し、トレーニングプログラムを提供してきました。

同時に、戦略的提携、合併、買収など日本企業のさまざまな国際化の場面を目の当たりにしたことで、日本市場と日本の商慣行の特殊性についても理解を深めることになり、彼女独自の経験をぜひドイツ人と日本人のマネージャーや若手スタッフにも伝えたいと思うようになったのです。

2008年、彼女は都内にある日独の協力発展のための組織NCDG（日本カール・デュースベルク協会）のマネージングディレクターに就任し、GIZ（国際協力学会）と協力して、「国際的な能力と責任を担える日本人従業員の育成」のための日独のマネージャー向けのさまざまなトレーニングプログラムを実施してきました。

彼女はまた、ドイツでビジネス経験のある中国と日本の専門家で構成された最大のグループのひとつドイツ学術交流会のプログラム「SP China and Japan」の卒業生に選ばれています。

2011年、彼女はドイツのカールスルーエに戻り、NGESと独自の事業を立ち上げました。今までのプロジェクトを継続しつつ、ドイツ国内で日本人向けの教育プログラムを新たに開発し、ポートフォリオを充実させています。プログラムの品質向上のために、彼女は日本への定期的な出張を続けています。

私生活でもビジネスの世界でも、長年にわたって日独両方の文化を経験してきたことが、彼女のトレーニングプログラムには生かされており、双方の視点を取り入れ、相互理解が進むよう編成されています。また、このトレーニングは、実際のビジネスに即したものになることを重視しています。

彼女は、ドイツ語はもちろん日本語も英語も堪能で、これらの言語を用いたトレーニングも可能です。さらに、dgiktという「異文化トレーナー」の資格も保有しています。